

建築基準法第 43 条第 2 項第 1 号の規定に基づく認定基準

令和 8 年 1 月 5 日

第 1 運用方針

建築基準法（昭和 25 年 法律第 201 号）第 43 条第 2 項第 1 号の規定に関し、次の基準のみに該当するものは、交通上、安全上、防火上及び衛生上支障がないものとして、認定審査を行うものとする。

なお、「道」とは、一般の通行の用に供されている道路状空地のことをいう。

第 2 基準

基準 1 建築基準法施行規則（昭和 25 年 建設省令第 40 号。以下「規則」という。）第 10 条の 3 第 1 項第 1 号に該当し、かつ、敷地と道路との間に、次の各号のいずれかに該当するものが存在する場合で、避難及び通行上支障がない道路に、有効に接続する幅員 4 m 以上の通路に 2 m 以上接する敷地

- 一 管理者の占用許可、承諾または同意が得られた水路
- 二 地方公共団体が管理する認定外道路等
- 三 都市計画事業等により、道路に供するために事業者が取得した土地で、当該土地の管理者の使用承諾等が得られているもの

基準 2 規則第 10 条の 3 第 1 項第 1 号に該当し、両端が道路に有効に接続している現況幅員及び官地幅員 4 m 以上の地方公共団体が管理する認定外道路等に 2 m 以上接する敷地

基準 3 規則第 10 条の 3 第 1 項第 2 号に該当するもので、次の各号に該当する幅員 4 m 以上の道に 2 m 以上接する敷地

- 一 東京都建築安全条例（昭和 25 年 東京都条例第 89 号）第 82 条に適合するもの
- 二 道路位置指定の手引き（令和 7 年 11 月） に適合するもの

第 3 その他

本認定基準に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附則

この基準は、令和 8 年 1 月 5 日より施行する。